

2021年12月27日

一般社団法人 日本心理臨床学会会員 各位

一般社団法人 日本心理臨床学会
理事長 藤原 勝紀
自殺対策専門部会
部長 小林 哲郎

緊急のお願い

日々、心理臨床活動に取り組んでいる学会会員の皆様方に心より敬意を表します。年末年始のあわただしい中ですが、すでに報道等でご存じの通り、女優、歌手、声優の神田沙也加さんが12月18日に亡くなりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。神田沙也加さんは、2014年に映画「アナと雪の女王」の日本語吹き替え版ではヒロイン、アナの声を演じ、多くのファンを獲得しました。とりわけ、当時の小学生、中学生が映画館で大きな声を上げて歌い、帰り道や学校でも歌っていた様子は臉に焼き付いています。現在でも多くのDVD等でも上映され、子どもたちが口ずさんでいるだけでなく、Instagramアカウントの投稿には多くのファンたちがコメントを寄せています。

そこで、私どもが危機感を抱くのは、2020年度の男性俳優の自殺報道前後において、自殺者が報道前の715人から2週間後に925人(29.4%)への増加、女性俳優の自殺報道前後では報道前813人から2週間後1,079人(32.7%)に増加したことです(厚生労働省、令和3年版自殺対策白書、第3節75頁)。また、児童生徒の自殺も増え続け、とりわけ女子児童生徒の自殺は、過去5年平均126名から2020年度は73.5%増の219名でした(令和3年版自殺対策白書、第3節88頁)。さらに、2016年12月30日アメリカの12歳少女が首つり自殺をFacebookに生配信し、日本においても1月から3月にかけて報道されただけでも6名の生徒が自殺をしました。そこで、皆様方で学校とかかわりを持っている方はもとよりすべての学会会員におかれましては、文部科学省の『教師が知っておきたい子どもの自殺予防』の第2章「自殺のサインと対応」を参照し、教職員と共有して、リスクをかかえる児童生徒に対して、T・A・L・Kの原則を踏まえてかかわっていただければと思います。

また、以下の点についても教職員と共有し、子どもの安心・安全を心がけてください。

主な留意事項

- ・普段から気になっている子について、改めて教職員とスクールカウンセラー等の心理職とで共有し、現状についての情報交換をできるだけお願いします。心理職から教職員に声をかけて、気になっている子をお聞きする積極的なアプローチも有効です。
- ・TALKの原則にもあるように、気になっている子には、どんな形でも良いので、教職員や心理職から声掛けをお願いします。

- ・いじめ調査などを実施している学校では、そうした資料から気になる子を改めてスクリーニングすることも有効です。可能な範囲で心理職からの提案や実施をお願いします。
- ・子どもの言動、サインに注意を払ってください。とりわけ冬休みあけに注意してください。
- ・子どもたちの SNS 等の様子で、心配なことがあったら信頼できる大人につなげるように何度も声をかけてください。
- ・危機介入は必要か否かの判断を学校等のチームとしておこなうようにしてください。

一人でも多くの子どものいのちが救われることを祈っております。

以上

[引用文献]

- ・「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」のマニュアル及びリーフレットの作成について：文部科学省 (mext.go.jp)
- ・令和3年版自殺対策白書 | 自殺対策 | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)

一般社団法人 日本心理臨床学会 自殺対策専門部会
部長 小林 哲郎 副部長 相馬 誠一
部員 青木 紀久代、伊藤 亜矢子、黒沢 幸子、森岡 正芳